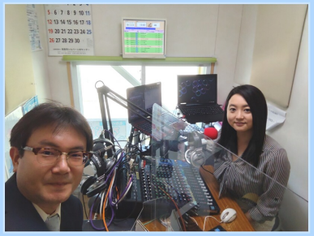
新時代への責任と決断

名取市議会議員

吉田 良の 名取市政ビジョン

第16号



エフエムなとり出演

1月　成人式、消防出初式、新春朝市初売り祈願祭などに出席しました。議員協議会において、（仮称）株式会社エフエムなとり設立に係る出資等、（仮称）名取児童発達支援センター等整備運営事業者の公募について説明を受けました。共生社会について考える講座に参加しました。

みやぎ化学物質過敏症の会 勉強会

2月　議員協議会において、下増田公民館・下増田児童センター改築工事の基本設計（案）について説明を受けました。公民館を考えるつどいに出席しました。

3月　議員協議会において、名取市総合交通に係る地域公共交通体系の見直しについて説明を受けました。地域公共交通体系見直しの3つの柱として、①新たな公共交通手段（デマンド交通）の導入、②効率的な路線ルート・ダイヤの見直し、③新たな付加サービスの導入が示されました。令和4年度からデマンド交通導入と幹線・補助路線再編について地域住民への説明が始まり、5年度に本格運行許認可手続き・施設整備が行われ、6年度に本格運行が開始となる予定です。KPM増田川清掃などに参加しました。

4月　議員協議会において、新一般廃棄物最終処分場建設候補予定地について説明を受けました。名取市が提案した候補地について、民間事業者5社に概算事業費の見積りを求めたところ、いずれも市の試算を大きく上回る額が示されたことから、この案は撤回されることとなりました。山田市長の選挙公約の目玉が、また一つ後退したことになります。増田神社例大祭に参列しました。八幡南町内会花壇整備・共同清掃に参加しました。演劇公演『猫と縁側』を鑑賞しました。エフエムなとり「なとりずむ なとり・キラキラ人」に出演しました。名取市総合防災訓練、青少年健全育成名取市民会議定期総会などに出席しました。会派代表者会議で柴田町議会を視察し、議会ICTタブレット導入について調査しました。名取市民合唱祭実行委員会が開かれ、第3回合唱祭の開催予定日が11月27日に決定しました。

会派代表者会議 視察研修

ナイトライブラリー ケンタロ・オノ氏と

5月　議員協議会において、宮城県津波浸水想定について説明を受けました。「なんとしても人命を守る」という基本理念の下、①地盤沈下、②潮位が満潮、③防潮堤が破壊される3つの悪条件が重なる想定で検討した結果、かさ上げされた閖上の新市街地でも最大5メートル浸水する可能性があることが示されました。なぜ県は復興事業が完了してから公表したのか、非常に強い疑問を覚えます。みやぎ化学物質過敏症の会勉強会、二つの名取を結ぶ会総会、なとり子ども食堂総会などに出席しました。KPM「やってみよう！地域活動体験」の運営に協力しました。名取市文化会館開館25周年記念演奏会を鑑賞しました。

6月　八幡南町内会共同清掃などに参加しました。NPO法人カタリバ活動報告会にオンライン参加しました。株式会社シーピーユー仙台支店を訪問し、電子回覧板アプリ「結ネット」について調査しました。宮城県護国神社春季大祭に参列し、鎮魂頌の独唱を献楽しました。

ともに考えよう、仙台名取合併構想

第11回ゲスト
仙台市議会議員
内藤良介 氏

吉田 良

仙台生まれ。仙台南高等学校、東京音楽大学卒業。みどり台中学校など県内の中・高等学校に勤務。平成26年まで学習塾経営。
現在、名取市議会議員（2期）、財務常任委員会副委員長、民生教育常任委員会委員、名取市民合唱祭顧問、混声合唱団せせらぎ指揮者。著書に『日本列島修復論』（あさ出版）など。

6月6日（月） 15:30

（吉田）宮城県が5月10日に公表した津波浸水想定によると、閖上地区など東日本大震災後にかさ上げされた市街地の一部が浸水域に含まれます。

（内藤氏）悪条件が重なることを想定したものですが、いざというときに市民や観光客などが避難できる場所の確保について、再検討されることになると思います。

想定が変わったことによる新しい建物の設置などは、今のところ計画されていません。

最悪の場合、閖上地区から四郎丸地区へ避難する方もおられるはずです。市の境界をまたぐ避難について、今後協議が進むことになるでしょう。

市をまたぐ移動という意味では、市道熊野堂線の開通は大きな出来事でした。延長線上にある南仙台駅付近の線路について、高架化を目指す運動がフェイスブックで展開されていますね。

運動の中心人物は私たちと同年代の方です。町内会ばかりではなく、商工振興会などを巻き込み、様々な声を集約させながら進められています。仙台市は9月末頃に、西口側からの移動実態調査を実施する予定です。

南仙台駅が高架化されれば、熊野堂地区と4号バイパスがつながるのですが…

費用と時間がかかるため、まずは西口の利用環境改善から着手されます。

がんセンターを含む4病院の連携・統合について、名取市と富谷市は5月27日、宮城県に対し候補地を提案しました。仙台市側の受け止め方はいかがですか。

この案が実現すれば、病院が遠くなる地域も近くなる地域もあり、住民の声も様々です。日赤病院がなくなることが問題なのではなく、病院がなくなることが問題であると言えます。日赤病院の跡地に別の病院が建てば問題はない、という捉え方の住民もおられます。スケジュールの詳細が示されれば、関係住民の不安は緩和されるのではないかと思います。

医療の連携・統合と同様に、自治体の再編も考えていかざるを得ない状況です。

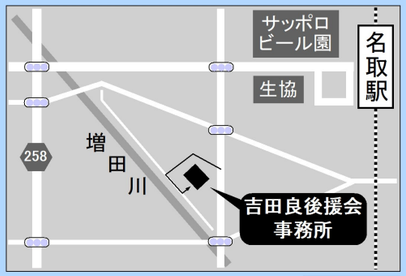
確かに合併にメリットはありますが、仙台市の一部でも開発が遅れたと言われている地域もあり、仙台市との合併が必ずしも名取にとってプラスになるとは限りません。合併をすることで、どのような地域を目指すのかが大切なのではないかと思います。むしろ岩沼市と合併する方がメリットが大きいという見方もあるのではないでしょうか。

複数の案が示され比較するというプロセスに住民が参加することが理想です。

名取から、地方分権と道州制移行の加速化を！

吉田良後援会は会員を募集しています

◎ 事務所　〒981-1231 名取市手倉田字八幡165-32西
◎ TEL　090-3368-1771　FAX　022-774-1771
◎ ツイッター・ライン　@ryoyoshida1771
◎ ホームページ　http://www13.plala.or.jp/ryokoenkai
後援会入会申込みは二次元コードから▸



令和4年7月1日　発行　討議資料